

## ヒノキにおける果樹カメムシ類の寄生状況及びきゅう果の口針鞘数(8月下旬)

8月下旬における県下各地のヒノキ樹上の果樹カメムシ類寄生状況及びきゅう果の口針鞘数の調査結果は、表のとおりです。

寄生虫数・口針鞘数ともに平年並の状況ですが、地域により差がありますので、圃場をよく観察し、飛来を確認した場合は素早い対応に努めてください。

表 ヒノキにおける果樹カメムシ類の寄生状況及びきゅう果の口針鞘数

調査地点	チャバネ・ツヤアオ合計 (枝当たり頭数)					口針鞘数 (本/果)
	成虫	老齢	中齢	若齢	計	
諫早市多良見町東園	2.6	0.6	0.0	0.0	3.2	3.9
〃 佐瀬	1.6	0.0	0.0	0.0	1.6	3.1
長与町岡	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	7.5
時津町日並	0.0	0.8	0.4	0.0	1.2	18.7
西海市西彼町小迎	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	6.3
西海市西海町木場	0.0	0.2	0.3	0.0	0.5	7.1
諫早市長田	0.1	0.1	0.1	0.0	0.4	5.8
大村市今村	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	2.2
東彼杵町赤木	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	15.0
雲仙市瑞穂町伊福	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	5.3
雲仙市国見町百花台	0.6	0.4	0.4	0.0	1.4	6.6
南島原市有家町新切	0.3	0.3	0.0	0.0	0.7	5.5
南島原市北有馬町田平名	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	6.5
佐世保市宮	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	9.3
佐世保市針尾	-	-	-	-	-	8.7
平均	0.4	0.2	0.1	0.0	0.7	7.4
平年値	1.5	0.2	0.3	0.2	2.2	11.6
構成比率(%)	58.9	27.0	14.1	0.0		

注1) きゅう果採集時期: 令和3年8月18,19日

注2) 寄生状況はビーティング調査により行った。

注3) 口針鞘数は、1地点当たりきゅう果30果を調査した。

注4) 口針鞘数の平年値は平成23年～令和2年の平均である。

注5) 口針鞘数が1果当たり**25本**を超えるとヒノキ毬果が餌として不適となりカメムシがヒノキ毬果より離脱する傾向。ただし、ヒノキ毬果における寄生虫数、口針鞘数は地形等により差が大きいので、各調査地点の結果が必ずしも当該地域全体の状況を示すものではない。